

「技術」を基本に、「新しい社会」をつくる。

# 会社説明会

平成30年6月期 第2四半期決算

JASDAQ:6542



株式会社 FCホールディングス

2018. 3. 7

# 目次

1. 通期（平成30年6月期）の計画
2. 第2四半期の実績
3. 事業紹介
4. 成長戦略
5. 参考資料（グループ事業会社の概要）

本資料並びに本説明会の説明は、当社グループの現在の計画、戦略等のうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく仮定や判断に基づいてるため、将来における当社の業績や事業活動とは異なる可能性があります。

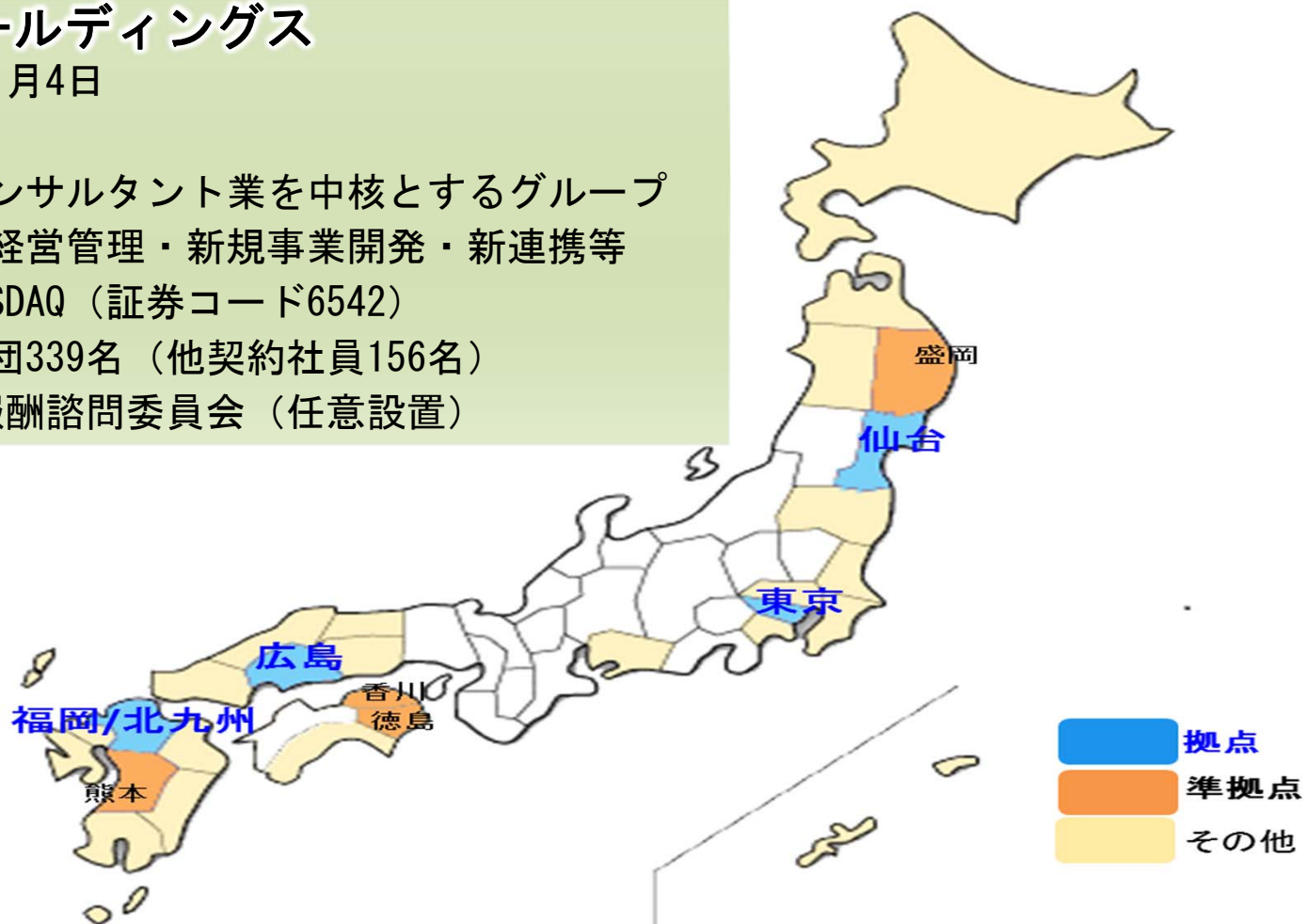
**IRに関するお問い合わせ：株式会社FCホールディングス 経営企画室**  
**092-412-8300 ir@fchd.jp <http://fchd.jp>**

# 企業集団の状況 —株式会社 FCホールディングス—

- 純粋持株会社として傘下に4社の事業会社を持つ企業集団
- 全国主要6拠点、24事業場で全国展開中

## 株式会社 FCホールディングス

- ◇ 設立 : 2017年1月4日
- ◇ 資本金 : 4億円
- ◇ 事業内容 : 建設コンサルタント業を中核とするグループ会社の経営管理・新規事業開発・新連携等
- ◇ 上場市場 : 東証JASDAQ (証券コード6542)
- ◇ 使用人数 : 企業集団339名 (他契約社員156名)
- ◇ 委員会 : 指名/報酬諮問委員会 (任意設置)



日本海軸(北陸)・中部・近畿が手薄

# 中核事業 —建設コンサルタント事業（得意とする6分野）—

## 交通マネジメント

交通調査・解析、交通計画、道路計画など



## リスクマネジメント

多様なリスクの予測・評価、対策の検討など



## 地域マネジメント

地域計画、都市計画、都市施設計画など



## ストックマネジメント

道路設計、道路付属構造物設計など



## 環境マネジメント

環境調査、環境影響予測など



## 建設事業マネジメント

建設プロジェクトの総合的マネジメント



## 1. 平成30年6月期計画 ①通期の計画 (期首計画に変更なし)

## 損益計算書計画

## 分野別売上高計画

	H29.6月期 実績 (百万円)	H30.6月期 予想 (百万円)	増減 (百万円)		H29.6月期 実績 (百万円)	H30.6月期 予想 (百万円)	増減 (百万円)
受注高	10,742	-	-	交通マネジメント	2,520	2,670	+149
生産高	7,508	-	-	地域マネジメント	248	280	+31
売上高	6,857	6,900	+42	環境マネジメント	521	550	+28
営業利益	715	550	△165	ストックマネジメント	1,236	1,100	△136
経常利益	714	550	△164	リスクマネジメント	1,609	1,650	+40
当期純利益	436	300	△136	建設事業マネジメント	721	650	△71
配当 (円/株)	23	20	△3	合 計	6,857	6,900	+42

※2月末受注量 速報値 : 7,412百万円

# 1. 平成30年6月期計画 ② 株式関連施策（3つの基本施策の継続推進）

## ① 配当（最重点施策）

### ◆ 公約配当 + 業績加算

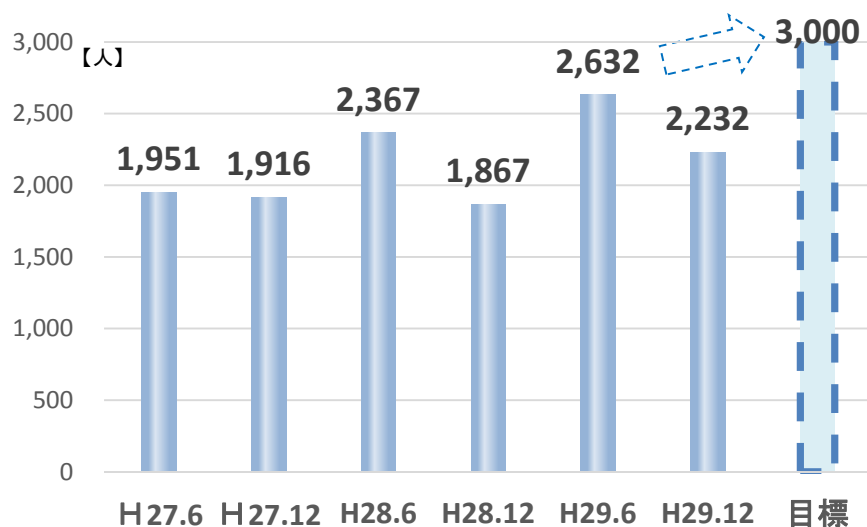
・期首計画：20円 + 業績加算

## ② 株主対話・広報

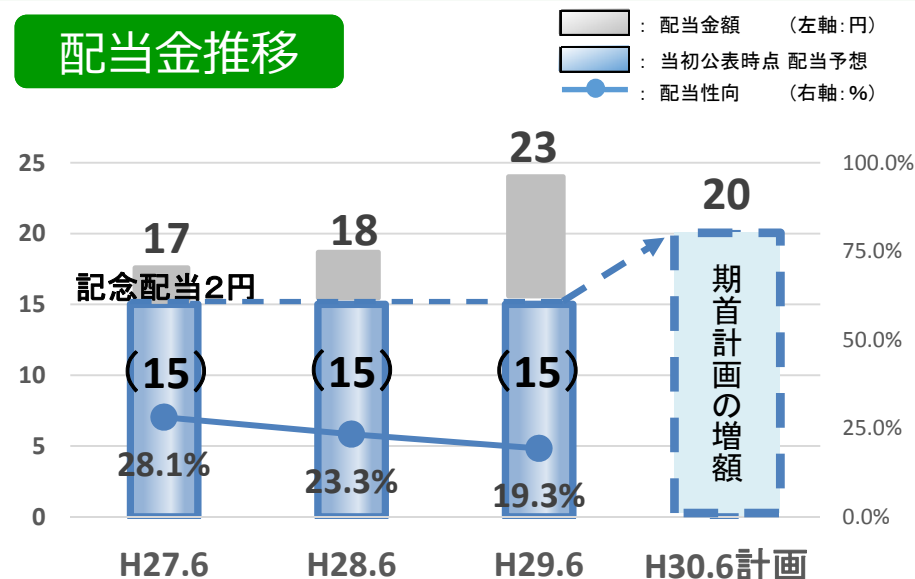
### ◆ IR説明会 + 株主対話

### ◆ 開発技術情報の積極開示

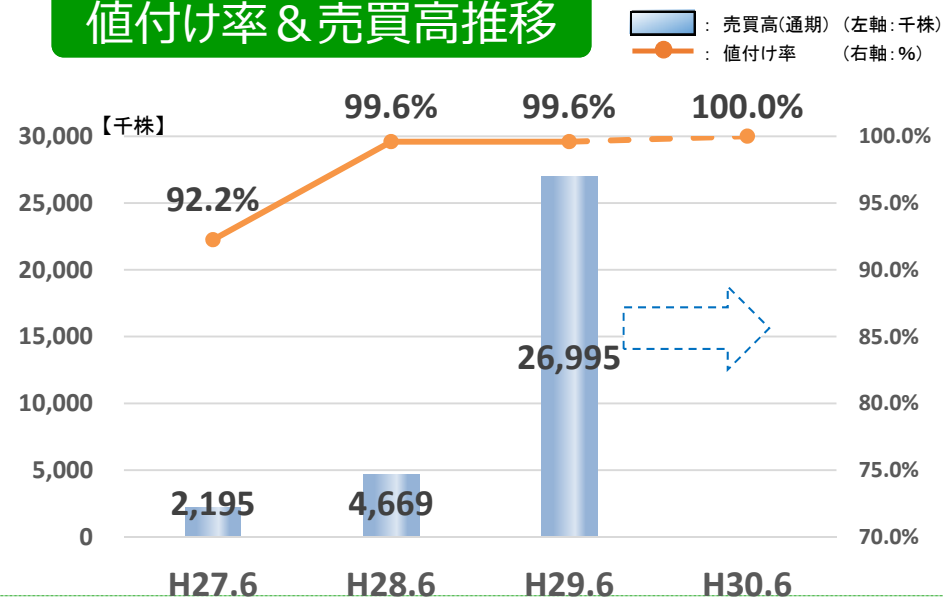
## ③ 株主数の増加



## 配当金推移

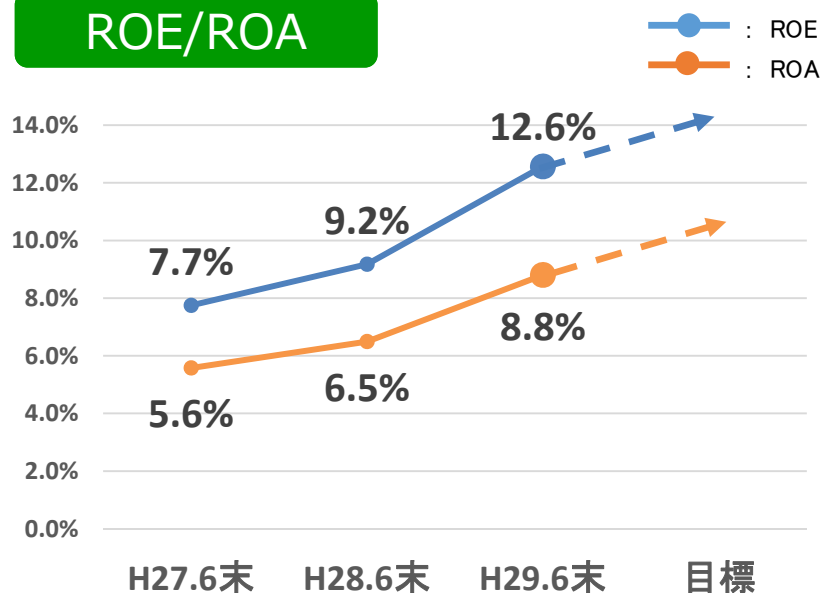


## 値付け率 & 売買高推移

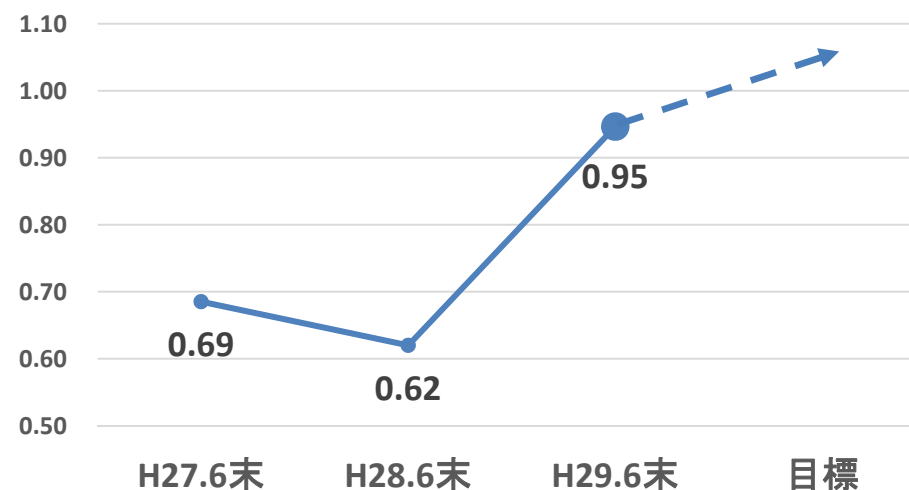


# 1. 平成30年6月期計画 ③その他財務指標の目標と投資計画

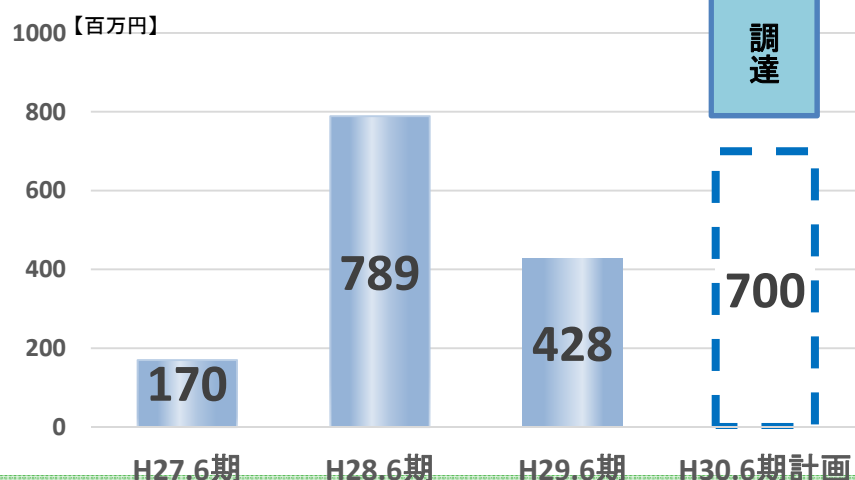
## ROE/ROA



## PBR



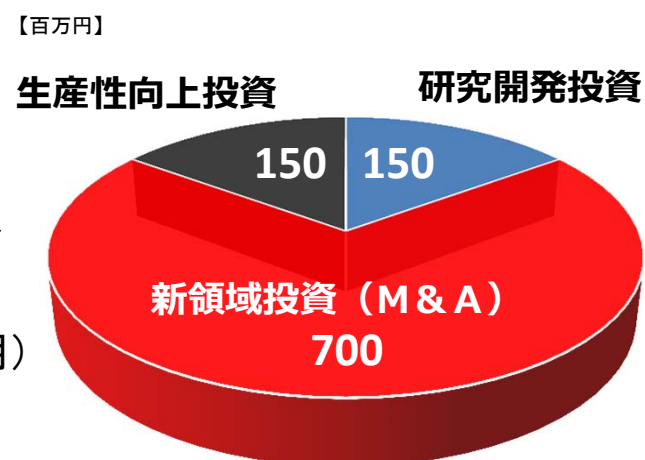
## 営業CF



## < 投資予算

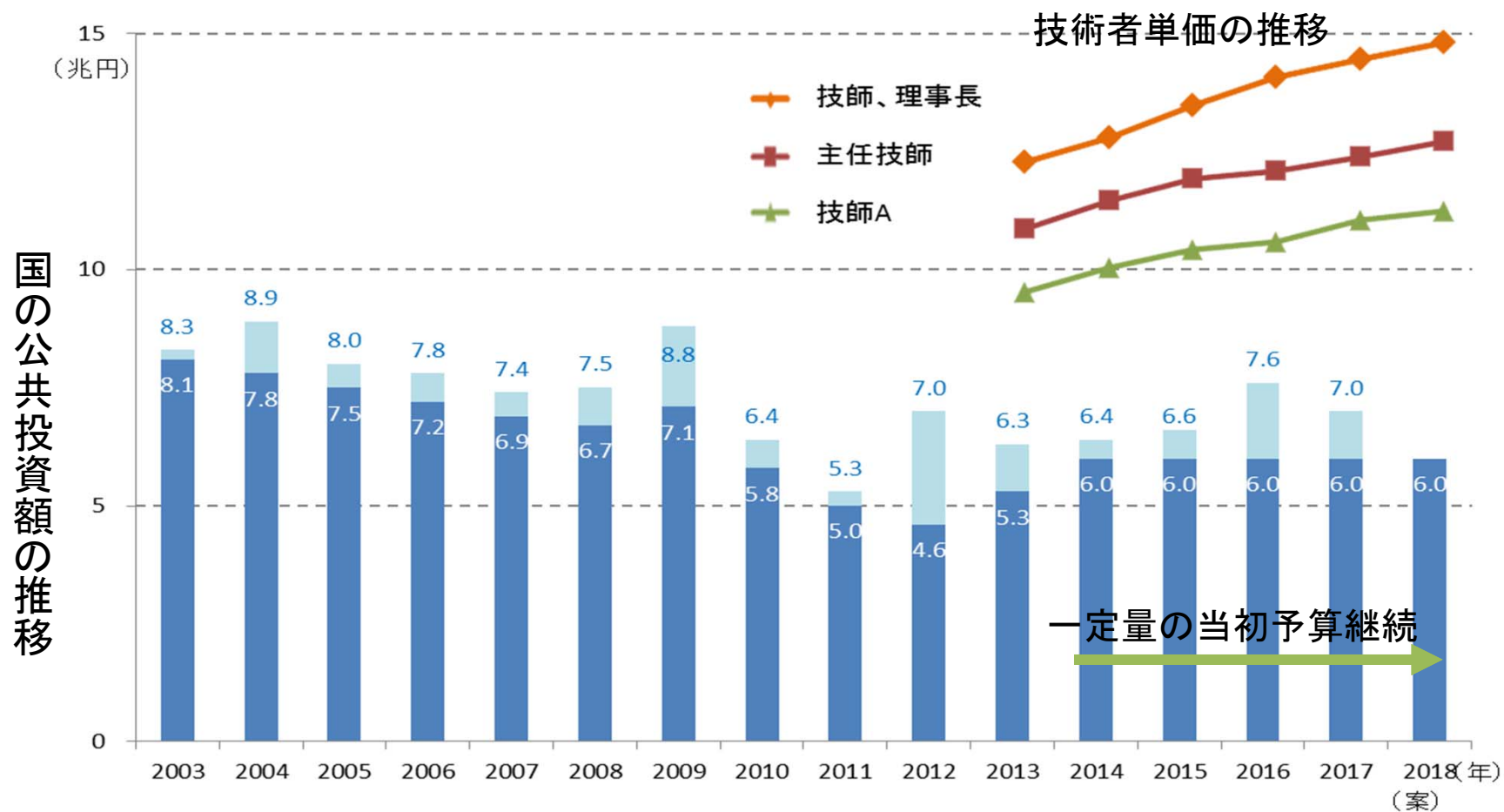
## 投資計画

投資  
予算  
10億円  
(負債の活用)



# 1. 平成30年6月期計画 ④計画の背景としての建設コンサルタント分野の市場環境

- ◆公共投資予算の年度内成立(前年度同水準)
- ◆技術者単価の継続的引き上げ(3月1日契約分より)





## 2. 第2四半期の実績 ①連結損益計算書（期首計画どおりに推移中）

◆前年同期比：受注高は△1.4%、売上高、各段階利益は好転

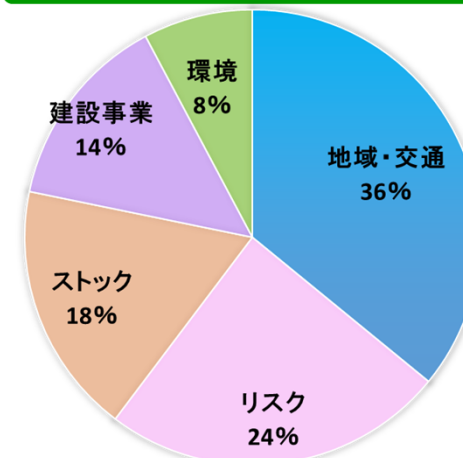
	H29.6月期 2Q期実績 (百万円)	H30.6月期 2Q期実績 (百万円)	対前年同期	
			(百万円)	(%)
受注高	6,779	6,684	△95	△1.4
生産高	3,719	3,567	△152	△4.1
売上高	987	1,267	+280	+28.4
営業利益	△337	△217	+119	—
経常利益	△335	△214	+120	—
四半期純利益	△254	△170	+83	—

※H29.6月期は、12ヶ月以上の変則決算を行った事業会社が2社あります

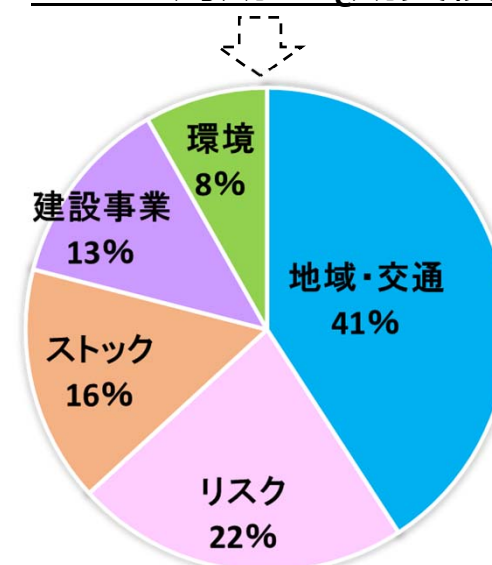
## 2. 第2四半期の実績 ②分野別受注高 (主力の地域・交通系分野が堅調)

	H29.6月期 2Q期実績 (百万円)	H30.6月期 2Q期実績 (百万円)	対前年同期 (百万円)
地域・交通 マネジメント	2,435	2,728	+293
環境マネジメント	527	550	+22
ストックマネジメント	1,215	1,057	△157
リスクマネジメント	1,651	1,494	△157
建設事業マネジメント	949	852	△96
合 計	6,779	6,684	△95

### 分野別構成比



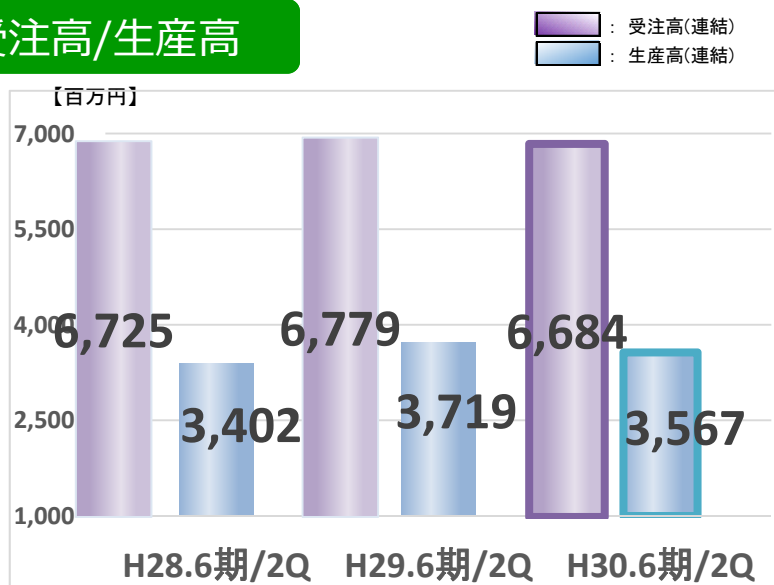
H29.6月期 2Q期実績



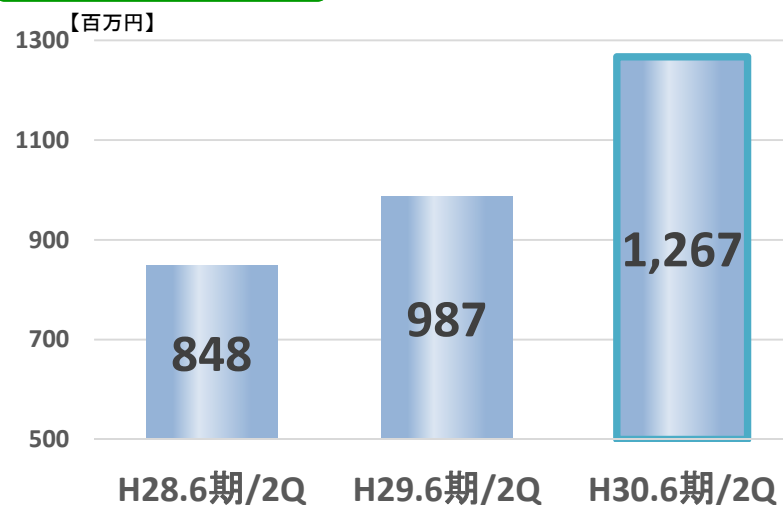
H30.6月期 2Q期実績

## 2. 第2四半期の実績 ③ 3期推移（収益性の継続的向上）

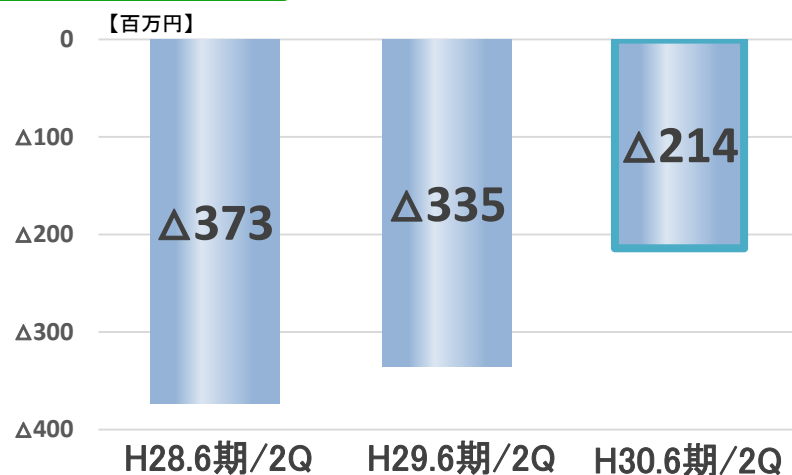
### 受注高/生産高



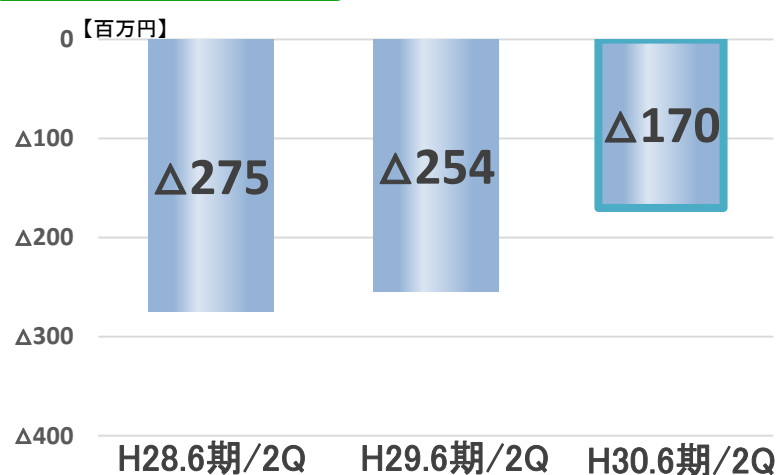
### 売上高



### 経常利益



### 四半期利益

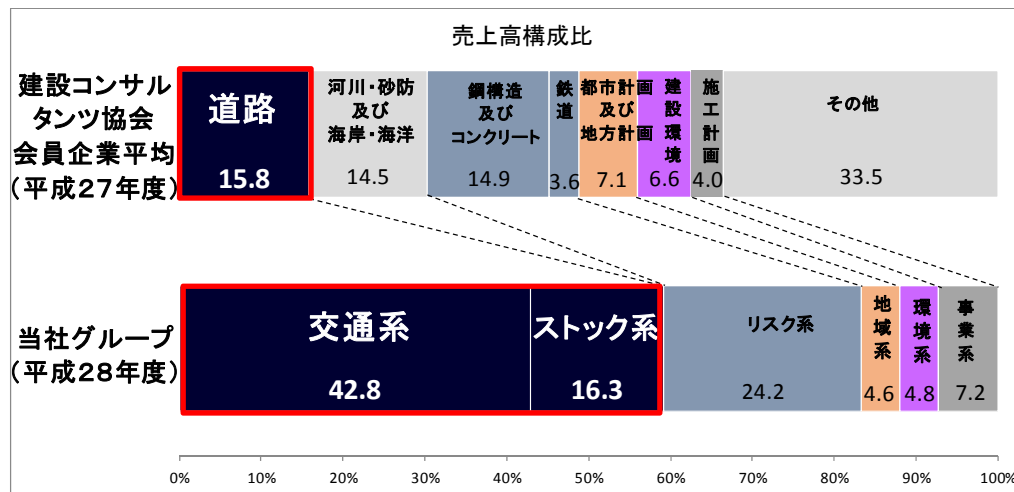


### 3. 事業紹介 ①中核事業と技術開発

## 道路・交通分野のコンサルティングに強みを持っています

●道路分野売上高業界4位  
(交通系+ストック系)

●鉄道分野・インフラ老朽化対策分野の拡大  
(リスク系)



## 技術力の維持・継続的向上

資格、評価		年度			
		H25	H26	H27	H28
資格	工学博士 (人)	12	12	13	11
	技術士 (人)	196	192	193	194
評価	業務評定点	77.4	77.6	78.2	78.4
	業務表彰 (件)	11	7	18	16

※数値は福山コンサルタント単独  
業務評定点は国土交通省からの受注業務の評定点  
業務表彰は国土交通省からの受賞件数

## 最先端の技術開発・知財戦略

特許取得件数(登録年度別)

H25 以前	H26	H27	H28	H29	出願中
5	1	0	2	1	3



### 3. 事業紹介 ②交通関連分野（IoT技術の活用）

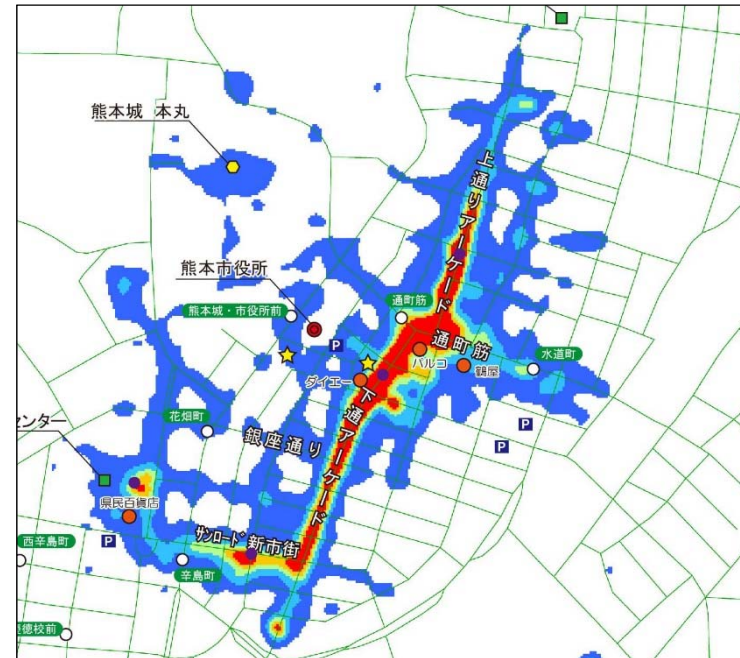
- ◆紙 ⇒ スマホ等のIT機器の活用
  - ・人の行動履歴をスマートフォン等の位置情報で代替
  - ・都市部+過疎地域の高齢者の移動履歴把握にも活用  
(岩手県遠野市での実地調査に活用中)
- ◆外部アライアンスにより、GPSによる位置情報を活用した交通分析に関する新商品を開発中



#### 自動ロギングシステム

##### 移動ルート再生画面

【P.P調査 社内実験】



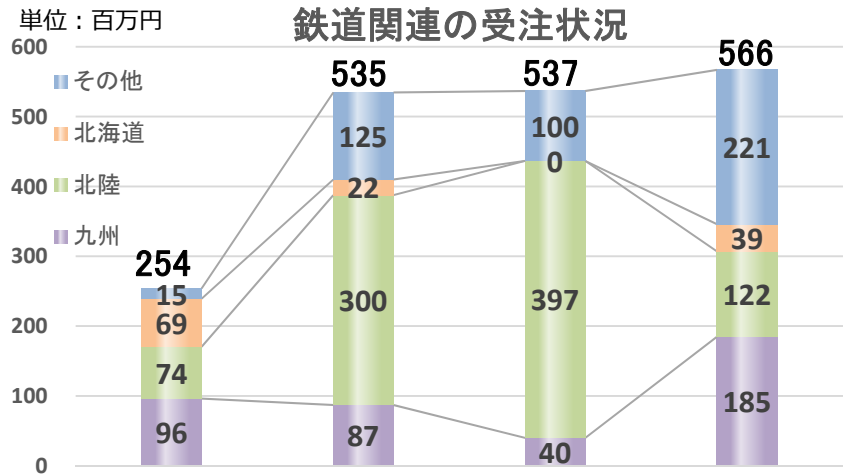
◆都心部の来街者滞留状況分析例



◆幹線道路の加減速発生状況分析例

### 3. 事業紹介 ③ 鉄道関連分野 (ビッグプロジェクトへの参画)

◆ 鉄道関連事業は、国内外で堅調に推移中



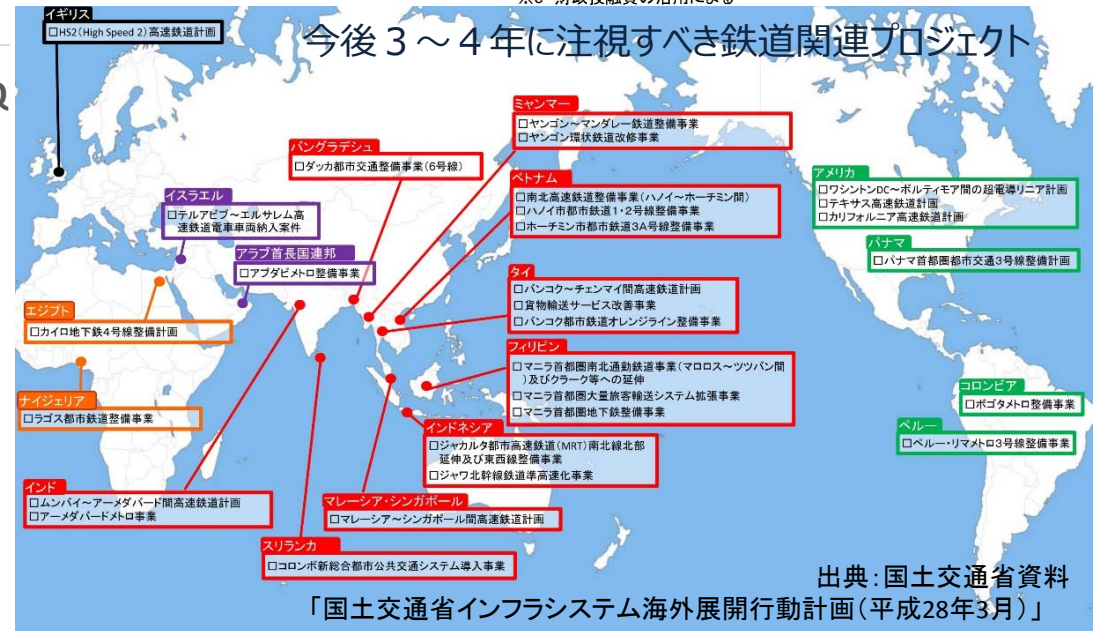
H27.6期/2QH28.6期/2QH29.6期/2QH30.6期/2Q

鉄道関連業務受注量の推移



出典：国土交通省資料  
「リニア新幹線の概要」

※1 中央新幹線品川・名古屋間工事実施計画(その1)(H26.10.17認可)による  
 ※2 中央新幹線(東京都・大阪市間)調査報告書(H21.12.24)による  
 ※3 財政投融资の活用による



3. 事業紹介 ④環境関連分野【グリーンインフラに関する包括協定締結 H29.11.28締結】

全国初



茨城県守谷市

- ◆人口：約7万人
- ◆東京（秋葉原）から約40分
- ◆住みやすさランキング：日本一

1位	守谷市
1位	武蔵野市（東京都）
1位	大野城市（福岡県）
4位	長久手市（長野県）

※シティブランド・ランキング「住みよい街2017」

◆自然豊か



『グリーンインフラ』

- ・自然の恵みや力を社会に取り込み、地域振興、環境保全、防災・減災を一体的に推進する、持続可能なインフラ整備の考え方
- ・国交省の「国土形成計画」、「社会資本整備重点計画」に記載された古くて新しい取り組み

### 3. 事業紹介 ⑤海外関連分野（展開事例）

#### 中小企業の海外展開支援

- ◆JICA業務として受注。延べ5カ国、7業務、1.1億円の事業実績  
現在は、堆肥化技術を活用した廃棄物処理事業を支援（フィリピン、インドネシア：70百万円）

#### 開発商品の海外展開

#### ◆海外ビジネスマッチングセミナー（国交省主催）

- ・バンコク（タイ）
- ・2018年2月20日
- ・参加メンバー

日本国：国交省、SIP開発企業（14社）

タイ国：政府機関、大学、企業（41団体）

- ・紹介システム（3つのモニタリングシステム）

橋梁下部工洗掘モニタリングシステム

内水氾濫監視システム

ポストゲージ（自動車両観測システム）



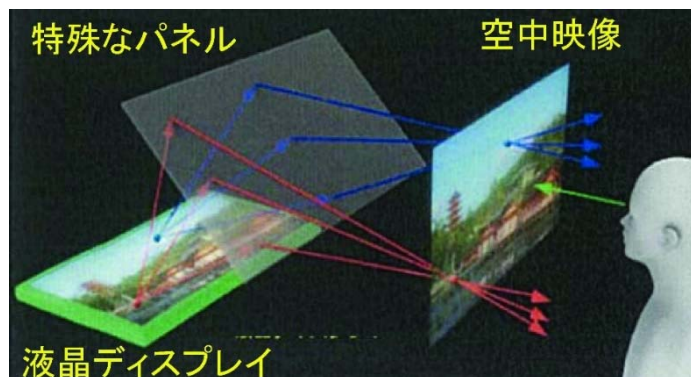
ポストゲージ設置状況



### 3. 事業紹介 ⑥新商品開発 (開発技術と市場展開)

#### 交通安全対策 ～逆走防止技術～

- ◆NEXCO逆走対策技術開発の実証試験技術選定
  - ・路側設置特殊パネルを使った空中浮遊映像により、逆走車両への注意喚起システム(現場実装試験中)



現地実験風景



特許出願済(2017.2.9共同)

#### 防災対策 ～簡易型水位センサー～

- ◆高松市で13か所にセンサー設置(稼働)中
  - ・「データ利活用型スマートシティ推進事業」における水位(潮位)観測機器として採用(試行計測中)。
  - 【一財) 河川情報センターポータルサイトで紹介】



センサーが水没した際に受ける水圧から水深を計測  
※赤丸がセンサー部

#### Topics

洪水・土砂災害などの非常時に、河川管理者が持つ河川・流域に関する情報を防災関係機関や国民へ情報発信している「一般財団法人河川情報センター」のポータルサイトに【危機管理型水位計】として掲載されています。  
(当社を含め25社の技術を紹介)

<http://www.river.or.jp/riverwaterlevels/index.html>

# 計測事例：ゲリラ豪雨時の水位変化 ～水位データと画像でリアルタイムの氾濫観測～

2017/08/19 16:00:04



## 4. 成長戦略 ①内部戦略－1（3つの生産性向上プロジェクト－①：機械化戦略）

### 1. 時間あたり生産性向上施策（IT・A I の活用）

- ①交通 I C T、構造物センサー等のビッグデータの高度処理の自動化
- ②各種地形図情報の統合化、自動判別技術の開発
- ③道路構造物の点検・補修業務等の成果報告書作成の自動化
- ④提案書、企画書、報告書等のレポート作成支援ツールの高度化
- ⑤社内ナレッジシステムの高度化、効率的コミュニケーション強化

▼ 3つのステップ

#### ■ 業務全体の「見える化」推進

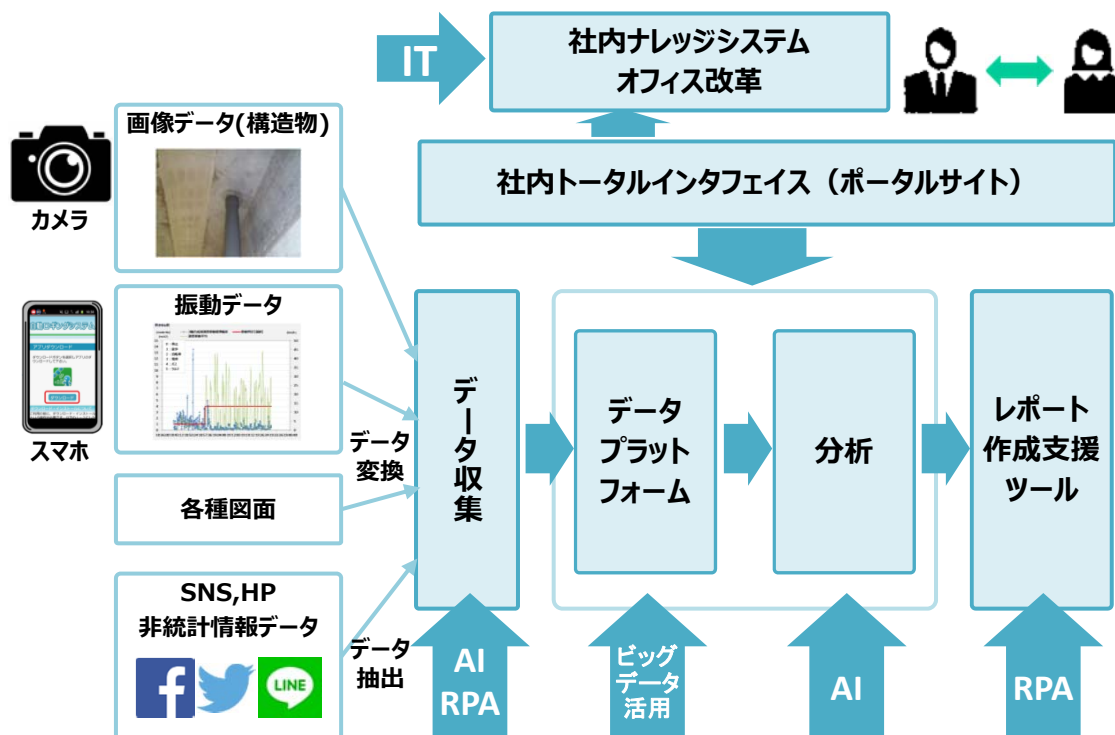
- ・業務の標準化、労働時間の可視化

#### ■ 自動化・高度化システムの構築

- ①RPA(ロボットテンプレート)による定形業務の自動化
- ②AIによる暗黙知の一部形式知化
- ③各種ビッグデータの収集及び解析技術の高度化

#### ■ 目標（競争優位性の向上）

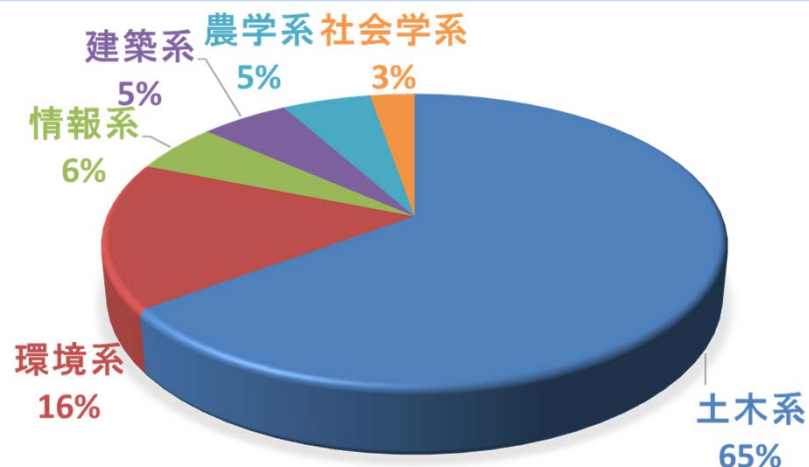
- ①時間あたり生産性の向上 5%以上
- ②成果品質の更なる向上 評価点UP
- ③付加価値比率の向上 10%以上



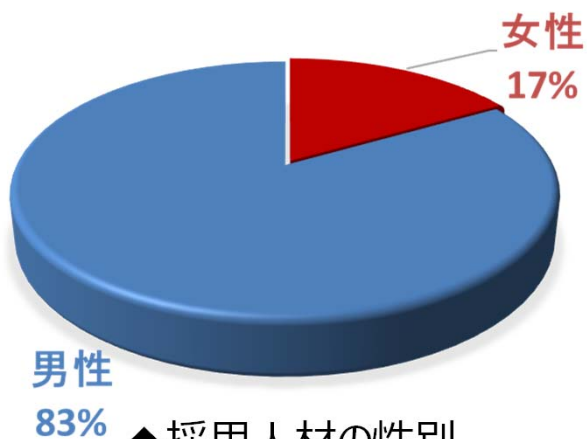
## 4. 成長戦略 ②内部戦略-2 (3つの生産性向上プロジェクト-②③ : 人材戦略)

### 2. 多領域の専門家人材の採用

- ・土木系+環境系+情報系等 幅広い人材を採用
  - ・女性採用の継続。採用数に占める割合は17%
- ※新卒・採用人材の合計(2014年以降、2018年採用予定含む)



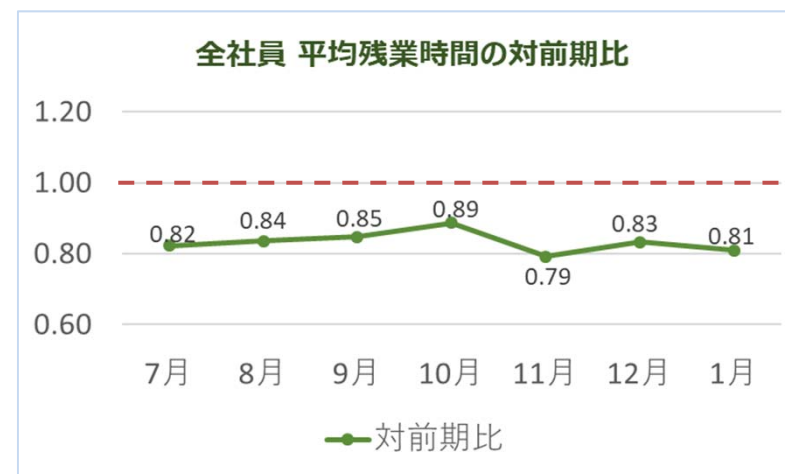
◆採用人材の専門分野



◆採用人材の性別

### 3. 働き方改革の推進

- ・労働時間の縮減を最重要課題に位置付けた施策 (対前期比 $\Delta$ 10%~ $\Delta$ 20%を達成)
- ・フレックスタイム制、在宅勤務制度の試行中

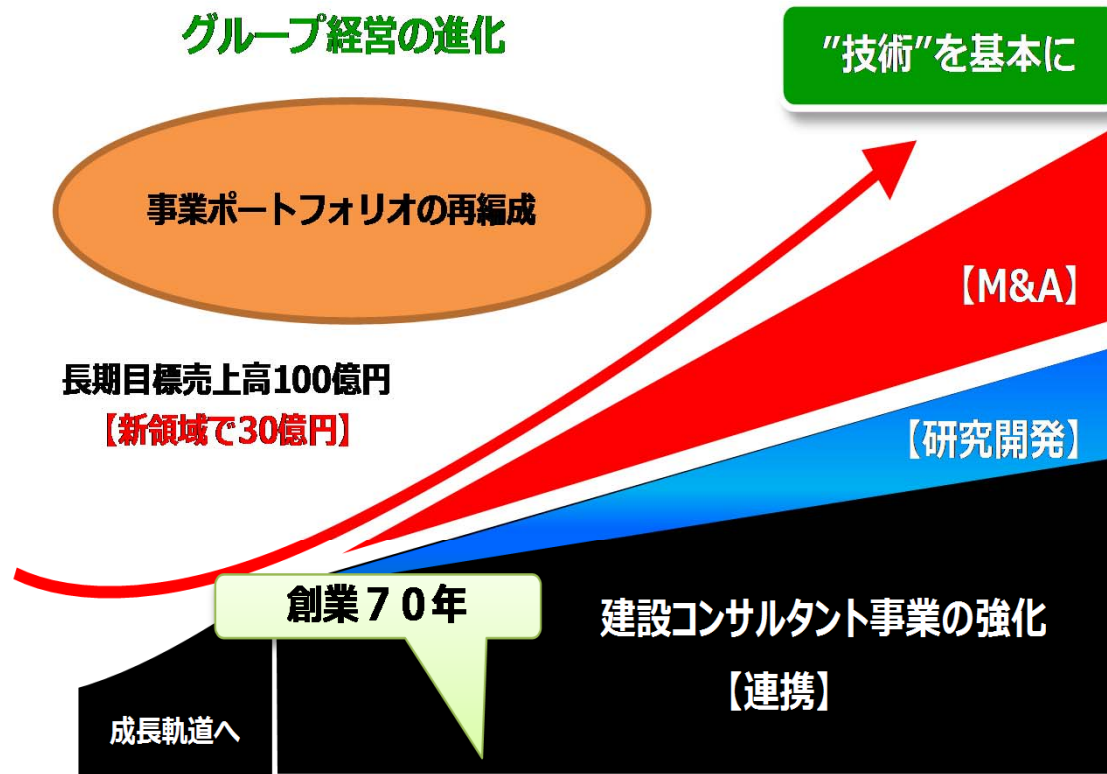


◆ワークライフバランス実現に向けた取り組み

これまでの取り組み	育児支援	育児休業、残業の制限、勤務時間短縮、子の看護休暇 等
	介護支援	介護休暇、残業の制限、勤務時間短縮、要介護者の看護休暇 等
	動機付け意識改革	ワークライフバランス推進会議の開催、FUKUYAMA+ (女性技術者の会)の活動、若手社員と経営層の対話 等
	その他	ノー残業デーの実施、リフレッシュ休暇 等
新たな取り組み	フレックスタイム制の試行(再施行)、在宅勤務の試行 等	

4. 成長戦略 ③総合戦略（建設コンサルタント既存事業＋研究開発＋M&A）

グループ経営の進化



**M&A (推進本部)**

- 社長・経営企画室長

**研究開発 (新規事業推進室、技術企画室)**

- 研究所 (期中に設立)
- サンドボックス方式

30億円

70億円

**既存事業強化 (事業本部)**

- グループ企業連携、新提携
- 新地域・新分野展開

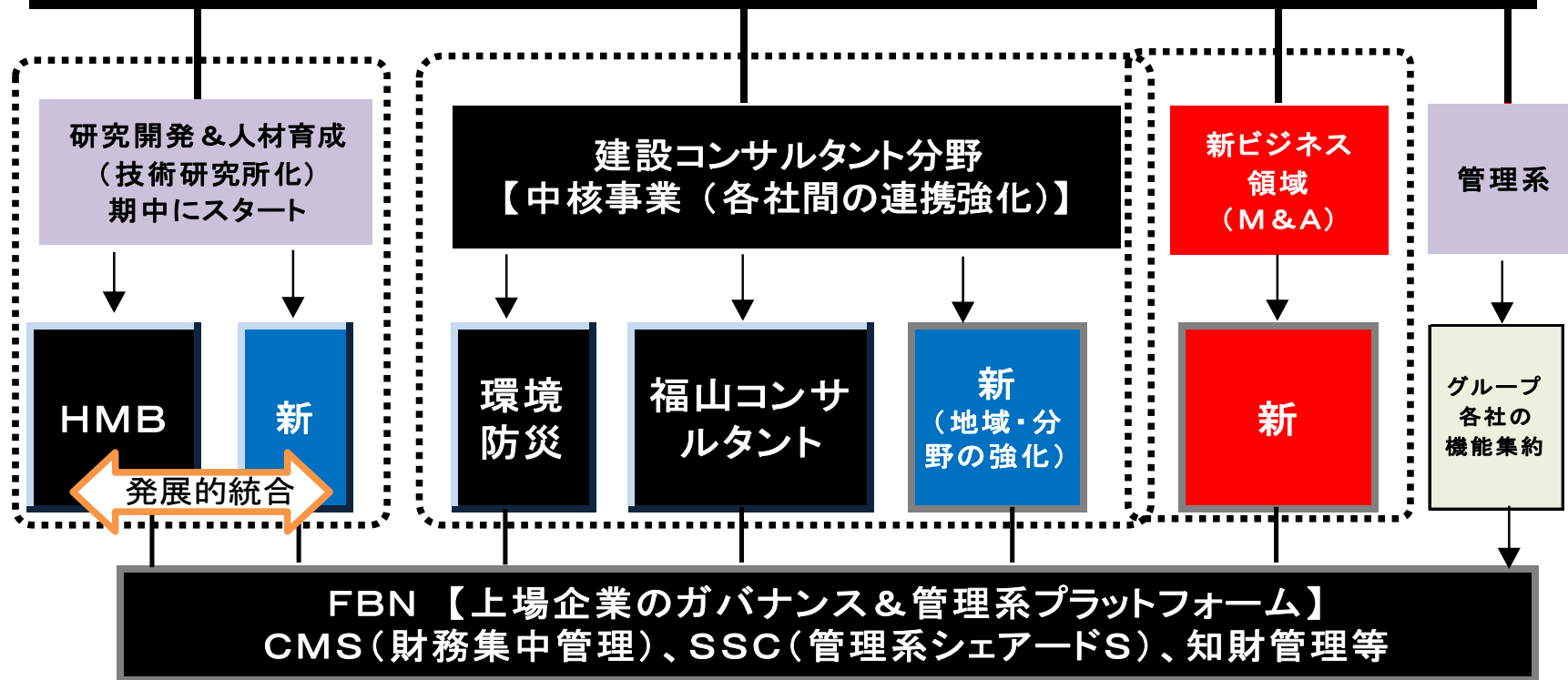
年次	2016	2017	2018	ラグビー	五輪	2021	2022	2023	2024	2025
経営計画	第3次長期プラン			第4次長期プラン						
	準備		加速	持続的進化のステージへ (拡張)						
キーワード	IoT、ビッグデータ、オープンデータ、AI、ロボット、自動走行、新エネルギー、i-con、PPP/PFI、働き方改革、高齢化社会 (2025年問題)、etc									

4. 成長戦略 ④企業グループの編成

事業会社再編成ステージ(2018.6期中に再編成完了予定)

FCHD【グループ経営戦略の立案・実行、新規事業開発、ビジネスモデルの変革】

建設コンサルタント分野の強化 (中核分野の継続強化・新地域開拓・新分野展開)  
 新ビジネスモデルの構築 (新領域:ICT等、産学・ベンチャー連携、海外)



凡例: 黒 = 既存、青 = 拡張技術・分野・地域、赤 = 新領域

## 5.参考資料 : グループ事業会社の概要

### 株式会社福山コンサルタント

- ◇創業 : 1949年3月1日 (創業69年)
- ◇資本金 : 589百万円
- ◇業種 : 建設コンサルタント業
- ◇役職員数 : 221名(他契約社員142名)
- ◇有資格者 : 工学博士11名、  
技術士194名 (延数) 他
- ◇売上高 業界順位  
建設コンサルタント部門計42位  
(道路部門4位)
- ◇事業所  
5拠点 (福岡・北九州・広島・東京・仙台)  
その他25の支店・事務所

### 株式会社環境防災

- ◇本社 : 徳島県徳島市
- ◇設立 : 1964年8月1日
- ◇資本金 : 90百万円
- ◇役職員数 : 46名(他契約社員14名)
- ◇有資格者 : 技術士・コンクリート  
診断士・環境計量士他
- ◇営業エリア : 四国4県
- ◇主力事業  
建設分野全般のトータルソリューションを提供  
(試験、調査・分析、対策立案等)

### 株式会社HMB

- ◇本社 : 東京都
- ◇設立 : 2011年1月21日
- ◇資本金 : 10百万円
- ◇役職員数 : 3名
- ◇有資格者 : 工学博士  
技術士
- ◇主力事業  
センサー & 無線通信を活用した、  
構造物の点検・診断、  
水位観測等のシステム開発

### 福山ビジネスネットワーク 株式会社

- ◇本社 : 福岡市
- ◇設立 : 2016年3月1日
- ◇資本金 : 30百万円
- ◇役職員数 : 59名
- ◇有資格者 : 公認会計士  
一級建築士他
- ◇主力事業  
CMS、SSC、知財管理等、  
企業経営のプラットフォームを提供